

「国頭小学校の国頭ヤッコ・仲里節伝承活動の取組」

1. 学校名	和泊町立国頭小学校
2. 学年・人数	全児童 74人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和6年6月～令和7年2月 総合的な学習の時間・創意の時間 (本校教室棟1・2階オープンスペース, 体育館, 運動場) 令和6年10月19日 運動会リハーサル(本校運動場) 令和7年2月6日 発表会リハーサル(あかね文化ホール)</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和6年10月27日 秋季大運動会(本校運動場) 令和7年2月9日 子ども芸能発表会(あかね文化ホール)</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名 称 国頭ヤッコ(くにがみやっこ), 仲里節(なかざとぶし)</p> <p>(2) 由 来(平成20年発行「国頭芸能のあゆみ」より一部抜粋) 国頭ヤッコは, とても踊り好きの人が沖縄に渡って習い覚えた4つの踊りがユーモアたっぷりてひょうきんだったので, これらを組み合わせでヤッコと名付けた。仲里節は, 琉球の民謡と踊りを見て稽古に意欲を燃やしていた人が, 琉球の人々の中に入って踊られた中の一曲である。</p> <p>(3) 構成等 国頭ヤッコは, 2組に分かれて舞台の左右から登場し, 前後に列で踊り, それぞれ出てきた方向と反対側に引っ込む。これを4つの踊りごとに繰り返す。仲里節は, 女性4人1組で四ツ竹を両手に持って踊る。踊りは4番まであり, 一曲ごとに隊形を変えて踊るのが特徴的である。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	郷土芸能である「国頭ヤッコ」と「仲里節」は昭和45年から郷土教育の一環として, 学校教育の中に取り入れられたことに始まり, 続いているものである。運動会では, 男子が「国頭ヤッコ」を踊り, 女子は「仲里節」を踊る。
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>子ども芸能発表会での仲里節の発表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大運動会でのヤッコ踊り</p> </div> </div>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「手をまっすぐのばす」, 「腰をしっかり落とす」など, 指導者の方に教えてもらったことを意識しながら踊るのは難しかった。 <p>【教員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々の伝統芸能継承への思いと御尽力の大きさを感じる。また, 敬老会やお祝いの席などで, 踊り興じる姿からも, この地域になくてはならない文化であると実感させられた。